

宮崎県は、このような先生を待っています。

宮崎県の教員をめざす皆さんへ

宮崎県内の公立学校では、現在、約11万人の子どもたちが学んでいます。教師は、宮崎や日本、さらには世界の将来を担う子どもたちの成長を支援し、社会を生き抜く力を育みながら、その可能性を未来に広げていくやりがいに満ちた職業です。

また、子どもたちに確かな学力や豊かな心を育む教育の充実はもとより、いのちを大切にする教育の推進が求められており、宮崎の学校教育に携わる教師への期待はさらに高まっています。

宮崎県教育委員会では、教師の働き方改革を推進しています。教師一人一人が健康で誇りとやりがいをもって、授業を中心とした質の高い教育活動に専念できる環境の実現を目指しています。それが、学校における教育の質の向上と子どもたちの教育の充実につながると考えるからです。

私たちは、子どもに対する愛情と教育に対する情熱・使命感をもち、高い専門性や社会人としての幅広い教養と倫理観を身に付けた、学び続ける姿勢のある人材を求めていきます。

共に「未来を切り拓く 心豊かでたくましい 宮崎の人づくり」に取り組んでいきましょう。 宮崎県教育委員会教育長

先輩先生
インタビュー
1

令和2年4月、初めて教壇に立ちました！

吉富 千佳 先生

(宮崎県出身)



Q 教員ならではの魅力は?

教員は、自分が異動した後でも、生徒が卒業した後でも生徒たちとの関係が続きます。生徒たちの人生に長く関わることができるることは、教員の魅力の一つだと思います。



Q 学生のころに抱いていたイメージとギャップは?

学生のころは、先生の仕事は授業だけだと思っていた。実際に教員になってみると、見えないところで子どもたちのためにたくさんの仕事をされていたのだと知り、改めて恩師にも感謝の気持ちをもちました。



Q 周りの先生方のサポートは?

指導教員の先生は親身になって話をきいてくださいます。また、相談内容によっては、対応いただく先生を選んでください、色々な先生方からのアドバイスをいただくことができています。皆さん、接しやすい雰囲気を作ってくださるので、とても相談しやすい環境です。

愛情と情熱・使命感
のある先生

高い専門性が
ある先生

幅広い社会性、倫理観、
人間性豊かな先生

学び続ける先生

宮崎県教育基本方針

たくましいからだ

豊かな心

すぐれた知性

宮崎県教育振興基本計画(令和元年策定)より

宮崎県教育委員会では、「宮崎県教育基本方針」の具現化を図り、将来世代である子どもたちをはじめ、県民一人一人が、宮崎や我が国、そして、世界の未来を切り拓いていく人となるよう願って「宮崎県教育振興基本計画(令和元年策定)」を策定しました。

スローガン 「未来を切り拓く 心豊かでたくましい 宮崎の人づくり」

宮崎県教育振興基本計画についての詳細は、こちら



Q 宮崎県の学校の印象は?

【夕美先生】全国的に教員の働き方改革が話題になってますが、私の勤務校ではメリハリをつけて仕事をする雰囲気があるので、私生活も充実しています。

また、県外で教員をしていた経験を生かしながら仕事ができていると感じます。



宮崎市立学園木花台小学校
加藤 夕美 先生
(宮崎県出身)



Q 移住することへの不安は?

【貴士先生】不安はありましたが、妻の故郷ということもあり、決断しました。

実際に宮崎に来て、新しい価値観との出会いが大きな学びとなって、教員としての成長に繋がっています。「教員にとって、異動は最大の研修」と聞いたことがあります、まさにその通りだと実感しています。

Q 宮崎県の先生方の印象は?

【貴士先生】一人一人責任をもって仕事をされていますが、分からぬ時は助け合い、チームで仕事をされていると感じます。

また、周りの先生方に限らず、宮崎の方は温かい人柄で、県外から来た私を優しく受け入れてくれます。子どもたちからは、親の愛情を受けて育っていることが伝わってきます。



Q 宮崎県の教員採用選考試験の印象は?

【夕美先生】現職の教員だったので、授業力で勝負がしたいと考えていました。

私は特別選考試験で受験しましたが、授業力、教育への熱意などでチャレンジできる試験内容だと思います。

また、近年は県外会場ができるなど、受験しやすい環境が整っている印象があります。